

Narita Airport News

NAN

2021年9月1日号 No.356

成田空港の運用状況 (2021年7月)

区 分	5月	6月	7月			
			前年同月比(%)	前年同月比(%)	前々年同月比(%)	
航空機発着回数(回)	10,085	9,610	138	11,175	135	48
国際線	8,103	8,070	130	8,351	135	46
旅客便	3,462	3,523	153	4,232	174	27
貨物便	4,308	4,339	135	3,905	120	186
その他	333	208	30	214	42	88
国内線	1,982	1,540	209	2,824	135	57
旅客便	1,925	1,501	221	2,787	141	58
貨物便	0	1	100	0	0	0
その他	57	38	69	37	36	31
航空旅客数(人)	329,674	299,234	210	505,190	173	13
国際線	113,513	137,149	178	186,615	189	6
日本人	26,749	31,102	162	40,697	162	3
外国人	37,306	43,235	184	72,906	230	5
通過客	49,458	62,812	183	73,012	175	19
国内線	216,161	162,085	248	318,575	165	46
国際航空貨物量(t)	205,244	209,073	149	222,135	145	128
積込	96,906	100,732	165	103,777	159	128
輸出	67,198	72,695	182	71,139	169	148
仮陸揚	29,708	28,037	133	32,638	141	98
取卸	108,338	108,341	136	118,358	134	128
輸入	75,603	78,233	137	83,180	133	133
仮陸揚	32,735	30,108	133	35,178	135	117
給油量(kl)	193,748	190,373	140	196,264	144	51

(注) 1. 6月、7月は速報値。

2. 国際航空貨物量は東京税関の資料による。

羽田空港の運用状況

区 分	5月	6月	7月	
			前年同月比(%)	前々年同月比(%)
国際線(人)	39,307	49,234	327	3
日本人	26,724	32,829	352	4
外国人	12,583	16,405	287	2
国際航空貨物量(t)	37,255	36,308	217	80
積込	19,653	19,383	255	94
取卸	17,602	16,925	186	69

(注) 1. 国際線旅客数は法務省、国際航空貨物量は東京税関の資料による。

航空機発着回数

前年同月比+35% (2,891回増、前々年同月比▲52%)となりました。

国際線発着回数は、前年同月比+35%の8,351回、国内線発着回数は、前年同月比+35%の2,824回で、夏季需要における復便・増便によりコロナ禍前の前々年に対し6割弱まで改善しました。国際線貨物便は、前年同月比+20%の3,905回で、国際線貨物臨時便が多数運航されたことにより好調を維持し、7月として過去最高を記録しました。

航空旅客数

前年同月比+73% (213,523人増、前々年同月比▲87%)となりました。

国際線旅客数は、前年同月比+89%の186,615人となりました。国内線旅客数は、前年同月比+65%の318,575人となりました。

国際航空貨物量

前年同月比+45% (68,454トン増、前々年同月比+28%)となり、7月として過去最高を記録しました。

成田空港B誘導路大規模改修

NAAは8月12日、B滑走路と平行に設置されているB誘導路について、大規模な改修工事を実施すると発表しました。

同誘導路は設置からおよそ30年が経過し、老朽化が進んでおり、舗装や航空灯火をリニューアルします。

工事期間は2021年12月～2022年10月(予定)とし、期間中の工事時間は8:00～17:00の間に行われます。

工事期間中、誘導路は終日閉鎖され、昼間施行、工期短縮を図り、早期に工事を完了させることで、今後の航空需要に対応していくとしています。なお、同誘導路の閉鎖に伴い、B滑走路の運用方式が以下のとおり終日変更されま

◆工事に伴う空港運用

- ・A滑走路は従来通り、出発と到着両方使用
- ・B滑走路は使用方向により運用方法を変更
滑走路34R使用時(北風時): 出発専用
滑走路16L使用時(南風時): 到着専用

※A滑走路閉鎖時等のイレギュラー対応他、状況に応じて異なる運用となる場合があります。



改修工事実施箇所

B滑走路

NAA 空港周辺地域住民への健康影響調査を実施

NAAは8月25日、成田空港の更なる機能強化に伴う四者協議会の確認書に基づき、空港周辺地域の居住者について航空機騒音に係る健康影響を含む生活環境への影響調査を実施すると発表しました。

この調査は、成田市、山武市、多古町、芝山町、横芝光町、稲敷市、河内町に居住する5,000名を対象に身体的状態、感覚的影響、夜間の睡眠影響について自記式アンケートにより行われます。

今回は2019年に実施した調査対象者約3,300名に加え、2020年3月24日の国交省告示により追加指定された騒防法第一種区域及びその隣接区域等の居住者から騒音レベルごとに無作為に抽出された約1,700名を加えた計5,000名を対象としています。

このうち、約4,000名は騒音地区から、残りの約1,000名は騒音地区と比較するための、航空機騒音の影響を比較的受けず周辺環境等もほぼ同条件の地区から選出されています。

NAA「CEIV Pharma」第2弾 認証取得を開始

NAAは、「成田空港コミュニティ」に新たに参加する企業6社を加え、医薬品航空輸送品質認証制度「CEIV Pharma」の2022年度中の取得を目標とした第2弾となる認証取得アプローチを開始しました。

成田国際空港は、IATAから、医薬品の国際航空輸送において「CEIV Pharma パートナーエアポート」の認定を受けており、日本で唯一のCEIV Pharma認証コミュニティを運営しています。

第2弾参加企業: 6社(五十音順)

- フォワード
 - ・伊藤忠ロジスティクス株式会社
 - ・株式会社近鉄エクスプレス
 - ・三井倉庫エクスプレス株式会社
 - ・三菱倉庫株式会社
- 陸送事業者
 - ・佐川急便株式会社
 - ・西濃運輸株式会社

尾翼

7月から振興協会新体制の常務理事を拝命いたしました。精一杯がんばって参りますのでよろしくお願いたします。

これまで尾翼を書いてこられた先輩方には心苦しい限りですが、拙文をお許しください。

就任から二ヶ月、猛威を振るうデルタ株に緊急事態宣言、準備を重ねたオリパラは無観客、成田空港ではなかなか回復の兆しが見えませんが、2ビル供用の年から成田に勤めた私は、リーマンショック、失われた二十年など、世間の不況をものともせず、ひたすら右肩上がりの成田が自慢でした。

ゆえにこの惨状は想像以上に心身にこたえました。そんな時にもオリンピックだけは、超人たちの躍動と「ゴン攻め」で毎日「ホンモノ」の感動。皆が素直に喜ばないスタートでも、シャッター街の空港、去っていった人、業務縮小、たんぼぼを守る、いろいろあつた現実を、テレビの前で涙とともに洗い流してくれました。

そして今度はパラリンピック。開会式で空港に見たてた片翼の飛行機のパフォーマン

「WE HAVE WINGS」

逆風に立ち向かう決意に共感したところで入場行進のアフガニスタンに選手はおらず。そういえば9・11からちょうど二十年、成田もやっそこまで来たのに。いろいろあり過ぎた夏の終わりに心配事のループはパラリンピックの涙で断ち切りましょう。そして立ち向かって参りましょう。

(H・M)